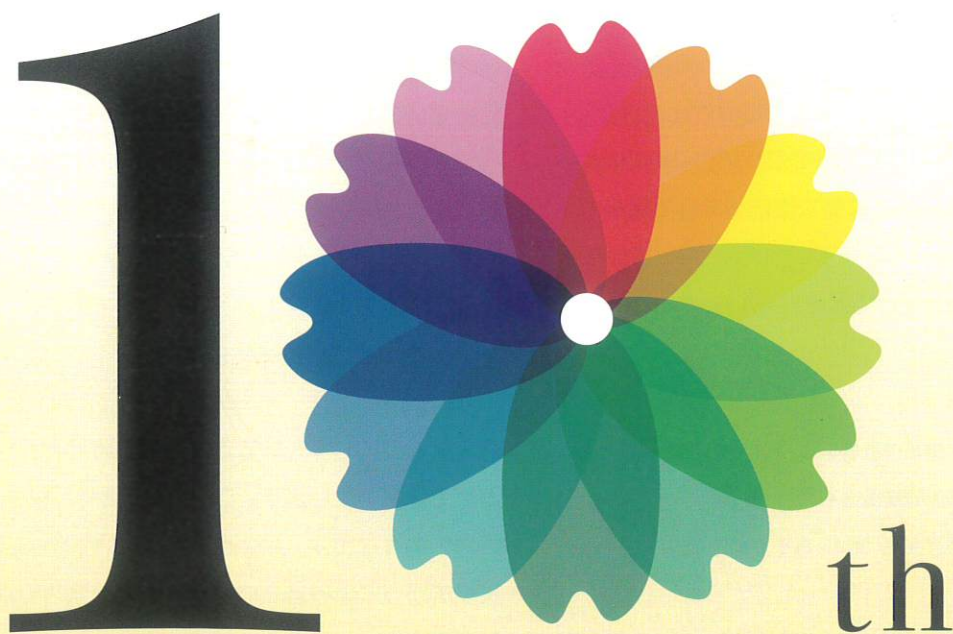


中野区生涯学習キャラクター  
まなビーバー



# ANNIVERSARY

創立10周年記念誌

自分も楽しい、みんなも楽しい！生涯学習

## 目次

ご挨拶 (Greetings)	1 p
会長・歴代会長のメッセージ (Message)	2 p
10年の歩み・記録 (History)	3～4 p
活動報告 (Activity Report)	5～10 p
会員紹介 (Voice)	11～17 p
会員交流「新東京丸」 (Communication)	18 p

# Greetings ご挨拶

設立 10 周年を新たな出発点として



東京学芸大学准教授 倉持 伸江

10 周年、おめでとうございます。いつもみなさんのエネルギーに、時にタジタジとしながら、私自身もともに学び成長してきたと実感しています。決まった形もルールもない、メンバーの一人ひとりの経験と関心を大切に受け止めながら、一緒にできる活動をその時その時で創っていくんだ、というゆるやかなスタンスが、ここまで継続してきた理由の一つでしょうか。また、まずは自分たちが楽しみ、自分たちが学び合いながら、区民の学びのお手伝いをするという雰囲気も、素敵ですね。



中野区健康福祉部文化・スポーツ分野  
中野区教育委員会事務局(兼務)  
社会教育主事 市川 恵子

「なかの生涯学習サポーターの会」が発足して 10 年、区民・行政・指定管理者の 3 者協働の関係を創りながら、「区民による区民のための生涯学習支援」を進めていただいていることに心より感謝申し上げます。また、講座開設当初から、講師として東京学芸大学の倉持伸江先生にご指導いただいております。



なかの ZERO 館長 原 誠二

なかの生涯学習サポーターの会発足 10 周年、おめでとうございます。中野区文化施設指定管理者として、これまで貴会と中野区との三者協働で、中野区の生涯学習活動の振興に寄与することができ、とても嬉しく思います。貴会が、これまで 10 年という歳月の中で積み上げてきた「地域と人（区民）、人と人をつなげる活動」は、一步一步確実に地域に根付き、中野区の生涯学習活動の礎となっていることを、一緒に活動させていただいている中で、ひしひしと感じます。

「生涯学習サポーター養成講座」に関わらせていただいておりますが、地域の具体的なテーマや課題を取り上げ、サポーター会メンバーも、新しい参加者も一緒になって実際に調べたり体験したりすることで養成・研修していくというスタイルが、こうしたボランティアな組織にありがちな「旧メンバーと新メンバーの温度差」といった課題を乗り越える一助になっているのではと思います。次の 10 年に向けて、さらなるみなさんの活躍を祈りつつ、これからもよろしく申し上げます。

運営にむけても多大なるご尽力をいただきましたことに改めて深謝いたします。この 10 年間で、サポーター会が区内の様々な団体・人材とつながり、会としての活動が着実に広がっていることに頼もしさや心強さを感じながら、私自身も大いに励まされています。会のメンバーのパワフルでエネルギー溢れる活動姿勢にエールを送ると共に、皆様の一層のご活躍を祈念しております。ぜひ、中野区から全国に発信する「なかの生涯学習サポーターの会」をめざして下さい。10 周年おめでとうございます。

生涯学習は文字通り、皆が生涯の生活の中で取り組んでいくものです。私ども指定管理者は、生涯学習活動の拠点となる中野区もみじ山文化センター（通称：なかの ZERO）の運営を通じて、これからも貴会と一緒に、区民の皆さまに寄り添う生涯学習活動支援を行っていきたく思っております。協働で様々な活動に取り組む中で共に成長し、中野区の未来のための一助となれば幸いです。貴会が、これからも地域の皆さまと共にますますご発展・ご活躍されることをお祈りいたします。

# Message メッセージ

会長・歴代会長からのメッセージ



なかの生涯学習サポーターの会 会長 道林京子  
10 周年を迎えて

生涯学習に全く興味も関心もなかった私が、動員をかけられ参加した養成講座。修了後のサポーターの会結成時もお付き合いで入会しました。あれから 10 年・・・大学で社会教育を学ぶまでになりました。人は環境で変わるものだという良い見本になっていると思います。

振り返ってみますと、私たちの会がここまで何とか存続ことができたのは、会員だけでなく行政と指定管理者との三者協働の会であり、そのご協力とご支援の賜物と、深く感謝を申し上げます。次第です。



初代会長 古川勝也  
設立十周年を迎えるにあたり

定年退職後は、第二の人生を充実させたいと常々模索しておりました。ある日中野区教育委員会主催「なかのことぶき大学」の事を知りました。たまたま修了生に紹介され、受講するにいたりしました。学習を通じ何か地域貢献したいと思っていた私にとっては、学習は毎回とても内容の濃い講座で、4 年間楽しく学び、数えきれない思い出を残しました。半ば思いつきで飛び込んだような世界でしたが、期待と想像を超えた楽しさが自分をもう一回り大きくしました。少しずつ地域のグループに参加すると見えてきたものは、



2 代目会長 星川真喜子  
生涯学習は、自由

「生涯学習サポーターとは何ぞや」サポーター会を立ち上げてから、この「何ぞや」に縛られてきた。サポーターを育てなければ、会を育てなければ。この思いだけで 8 年が過ぎた。今は思う。捉え方もやることも人それぞれでいい。

会の活動も 10 年間で進化・発展を続けています。これは新しい会員の方たちが運んでくる時代の風を感じることで、そして会員もスキルアップの学びを続けることでお互いの刺激となり、次の活動へのエネルギーが生まれてくる循環ができてきているように感じます。

私たちの会は「サポーターの会」なので、自分自身も楽しみながら「一緒にやらない？」と呼びかけを続け、これからも楽しい生涯学習を実践していきたいと思っています。

どこの地域にも夫々の財産があり、そこに住みながらなかなか気付かないことでした。どんなに議論を重ねてもきりがなく、そういう思いでした。そうした想いを同じくした者が集まり、サポーター養成講座受講終了希望者が中心となり今後の活動に向け検討を重ね、平成十九年に自主団体「生涯学習サポーターの会」を設立しました。志を同じくする仲間とますます活動できるよう、更なる充実と構築を目指してきました。十年という大切な節目を迎え感謝です。更に十年後のお祝いができる日を、今から楽しみにしています。

生涯学習とは、暇つぶしであろうと生きがいであろうと、自分の時間を有意義にこなせるもの。私にとっての生涯学習は、人が喜ぶことをすること。会員の方々も、どうぞ自分の生涯学習を見つけ、人生を楽しんでください。

# History 10年の歩み

サポーターの会 10年の記録

2007年

■ 当会設立 (2007)



2008年

■ 公開講座開催 瀬沼克彰氏講演 (2009)

- ・生涯学習をより理解するために
- ・生涯学習って何？
- ・地域で始めるためには



2009年

■ 月刊誌「社会教育」に会の紹介記事が掲載される (2011)

■ NPO 法人すみだ学習ガーデン 10周年式典に出席 (2011)

2010年

2011年

■ なかの ZERO 掲示板に区民の生涯学習情報の掲示開始 (2007)



■ すみだ生涯学習センター、ユートリア見学 (2009)

■ NPO 法人すみだ学習ガーデンと交流 (2009)

■ 「まちかど生涯学習」の連載を NAICES に掲載開始 (2009)

■ 「まちかど生涯学習」のコーナーが、まな VIVA ネットサイトに移動 (2010)

■ 西館ガラスケースに区民の作品の展示開始 (2007)



■ 府中生涯学習ボランティア「悠学の会」との情報交換・交流施設見学 (2010)

■ 中央区ガイドボランティアから研修を受ける (2010)

■ 「歩いて探るなかの学」スタッフ研修 (2010)

■ 「歩いて探るなかの学」始まる (2010)



■ 八王子生涯学習フェスティバルとクリエイイトホールの見学 (2007)

■ 生涯学習支援コーナーと 掲示板の改装 (会の要望が活きる)

■ 中野区中央図書館との連携で 青少年コーナーの本の選書 (2011)

■ 哲学堂ガイド研修に会員が参加 (2011)



## 国内情勢

郵政三事業民営化 洞爺湖サミット開催 裁判員制度開始 大相撲野球賭博 東日本大震災  
 福田康夫首相就任 麻生太郎首相就任 鳩山由紀夫首相就任 菅直人首相就任 小笠原諸島世界自然遺産に

## 世界情勢

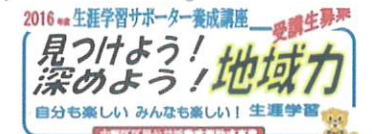
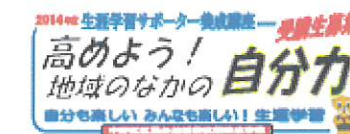
サブプライムローン 北京五輪 オバマ大統領就任 中国 GDP 世界第二位 ギリシャ経済危機  
 サルコジ仏大統領就任 四川大震災 GM 経営破綻 iPad 発売 タイで洪水被害

# History 10年の歩み

サポーターの会 10年の記録

2012年

■ サポーターの会が初めて養成講座を主催 (2012) ■ サポーターの会主催の養成講座を毎年開催 (第二回から第五回)



■ 「人づくり・地域づくりフォーラム in 山口」に参加し実践結果を発表。(2012)



■ 歩いて探るなかの学を毎年実施 (第四回~第七回)

■ 国分寺市史跡ガイドボランティアとの交流 (2014)

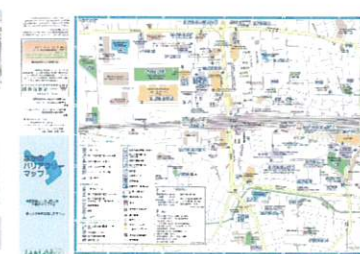


■ もっと知りたいなかの学を実施 (第二回~三回)

■ 中央区文化財サポーター協会と交流 (2016)



■ NPO 法人リズ、ガイストリームと交流し、中野駅南北周辺のバリアフリーマップ作成 (2017)



■ 2017年創立10周年記念行事を企画



## 国内情勢

安倍内閣誕生 伊豆大島土石流 消費税8% マイカー一制度制定 熊本地震 日本人横綱稀勢の里  
 東京スカイツリー 三浦雄一郎80才 御嶽山噴火 18才選挙権確立 北海道新幹線開業 誕生  
 開業 IALIT 登頂 都民ファーストの会圧勝

## 世界情勢

ロンドン五輪 伊一日米通算 西アフリカで Ebola パリ同時多発テロ リアデジヤチ0 米国トランプ大統領就任  
 4000本安打 出血熱発生 札幌地震 オリンピック 北朝鮮ミサイル発射

# Activity Report 活動報告

様々なテーマに取組んだ活動報告

## 生涯学習サポーター養成講座

平成 18 年に中野区教育委員会主催で始まった「生涯学習サポーター養成講座」は、平成 23 年サポーター会に引き継がれ、市民が市民をサポートする市民を養成する講座の先駆けとなった「いきいき組織になる秘訣」を企画として開催した。講師は、宇都宮大学の廣瀬隆人氏で大好評を博した。

### ◆第 1 回 テーマ「自分を活かすきっかけをつくらう」

平成 24 年 11 月 21 日～12 月 5 日 全 3 回 参加者 47 人



前回に引き続き、宇都宮大学の廣瀬隆人氏を招き、生涯学習に取り組むキッカケづくりのイロハを学んだ。秀逸なインタビューによって、会員の地域デビュー体験と心の動きを巧みに引き出していった。「人はいくつになっても変わる。変わるということは何かを始めるということだ」とメッセージを残した。



インタビュー形式

### ◆第 2 回 テーマ「役立てよう自分力」

平成 25 年 11 月 15 日～12 月 13 日  
全 5 回 参加者 48 人

第 2 回目からは、東京学芸大学准教授倉持伸江氏を招聘した。培ってきた「自分力」をテーマに、それを地域のなかでどう活かし、高めていくかに注目した講義を展開した。第 2 回目の人間関係学講師の三好良子氏の自分再発見、他者への気付き、ホスピタリーマインドの考え方や実例を学んだ。更に倉持講師が生涯学習を掘り下げながら、地域の中での生涯学習サポーターとは、地域で自分にできることは何だろうと投げかける。サポーター会員たちも、ファシリテーターや報告者等で参加者と共に学び合った。

### ◆第 3 回「高めよう!地域のなかの自分力」

平成 26 年 10 月 17 日～11 月 24 日  
全 5 回 参加者 40 人



各グループの  
成果発表風景

# Activity Report 活動報告

様々なテーマに取組んだ活動報告

### ◆第 4 回 テーマ「深めよう!地域のなかの実践力」

平成 27 年 10 月 16 日～11 月 27 日 全 5 回 参加者 41 人

自分たちが住んでいる地域を知り、その中で様々な体験をすることで改めて次への活動へとつなげていく。養成講座は 4 回目を迎えて、個の自己実現から地域社会へと目を向けた。「しらすぎ桜苑」「社会福祉協議会」「歩いて探るなかの学」「ゼロキッズ」「まちなかサロン」「まちかど生涯学習コラム」「なかのゼロ展示」「街の清掃活動」8 つのグループに分かれて体験を行い、その実践を共有した。



### ◆第 5 回 テーマ「見つけよう!高めよう!地域力」

平成 28 年 9 月 2 日～9 月 31 日全 5 回 参加者 37 人

「地域の見守りを考える」「ゴミから環境を考える」「中野の社会資源を発掘する」をテーマに第 5 回は初めて分科会形式とした。地域を改めて見直すことから始め、行政担当者の話も聞いた上で、地域に飛び出し自分の目で確かめる。課題について意見を積み重ねてまとめ、情報として広く発信することができた養成講座となった。



# Activity Report 活動報告

様々なテーマに取り組んだ活動報告



第3回東京メトロ中野工場探訪

## 区民と共に歩いたなかの学

迎えて8回を数える「歩いて探るなかの学」は、街角に残された文化財や史跡から歴史を学び、受け継がれてきた価値を再認識することを通じて、中野への郷土愛を育て地域活性化に貢献し、区民と共に学び合う街歩き企画で、毎回定員オーバーの人気シリーズである。

### 「歩いて探る なかの学」

- 第1回 「たきびの歌」発祥の地と新井薬師・哲学堂を訪ねる。
- 第2回 西武線沼袋駅からJR中野駅までの周辺散策。
- 第3回 東京メトロ中野工場を探訪。
- 第4回 幽玄の世界から中野長者と象小屋を歩く。
- 第5回 江古田獅子舞の由緒を知り、歴史民俗資料館で考古学を学ぶ。
- 第6回 中野区唯一の茅葺民家を中心に鷲宮神社、福蔵院などを散策。
- 第7回 鍋横地区から味噌醤油醸造業発展の昔を偲び、宝仙寺から中野坂上までを散策。

### 第1回チラシ



### 「もっと知りたい なかの学」



より深く知りたい欲求を満たすために、焦点を1か所に絞って巡る「もっと知りたいなかの学」も人気である。史上最大の復讐劇の主役吉良上野介の功雲寺、100年の歳月を経て復元された新井薬師寺の十二神将を見る「拝み隊」、中野区民なら誰もが知る中野駅北口サンモール商店街の発展史を、パワポと資料で綴るなど3回を数える。特に第3回のもっと知りたいなかの学は、JR中野駅の移転から始まる物語〜ブロードウェイの完成、区役所の移転、サンプラザの完成などと商店街の歩みは、区民の関心を一気に高めたイベントとなった。

この二つのシリーズの特徴は、資料調べや訪問先はすべて実行委員が決め、何度も実踏を繰り返し、区民のみなさんに情報を発信しているところである。それは自らが学び、区民のみなさんに届けることで共に学び合う事である。またイベントの締めくくりは、振り返り検定(100点が取れる)があり、歩いた証明となる「修了証」がもらえるところにも他と違う特徴がみられる。

参加者のアンケートを参考に候補地を選び、調べて提供するなど、あくまでも区民目線で企画、開催する方法は、まさしく学びを通じて区民の生涯学習のサポートする役割を果たしていると言える。

# Activity Report 活動報告

様々なテーマに取り組んだ活動報告

## なかのZEROでの、展示・掲示活動



アピールチラシと申込み用紙

### 区民活動の情報発信をサポート!

中野区主催の養成講座で、「区民の作品をもっとZEROに展示したい!」、「区民の活動情報をもっと区民の目に触れるところに掲示したい!」という要望を実現した。展示は西館ガラスケース、掲示は本館一階のスペースを使って、文化芸術、区民の活動情報の発信を続けている。

### ミニ ギャラリーの運営

ZERO西館一階の事務所前に置かれた、小さなガラスケースに中野区内で活動されている団体、中野区在住の方々の作品を展示している。サポーターの会の仕事は、展示作品の募集、ZERO支援課と連携して作品の搬入・搬出の立会、展示発表をしている。展示を通して、作品と人、人と人との出逢いがあり、区民の生涯学習に取り組むきっかけづくり、参加メンバーのレベルアップにもつながり、区民の文化芸術コミュニケーションの場としての働きをしている。



ガラスケース(59cm・横 145cm・奥行 42センチ)での作品展示

### 区民の情報拠点として発信

「他団体が、どのような活動をしているのか?」「自分の活動も知らせたい!」をかなえるために、区民の活動情報、イベントの紹介、NPO、他団体の紹介、中野区施設の情報など、区民の希望を受けて掲示している。サポーター養成講座で調べた区民に役立つ、研究発表もここから発信している。



ZERO本館 図書館につづく階段手前のスペースでの情報発信



会員交流 「行ってきました」 視察船「新東京丸」



日時: 2017.8/31

参加者: 会員・指定管理者・生涯学習大学同窓生 25名

台風が小笠原諸島に接近中との情報に、出港が危ぶまれました。船長の特別判断のもと、外海には出ず、レインボーブリッジを潜り、ゲートブリッジの内側を巡るコースを廻りました。今話題の「豊洲市場」やオリンピック・パラリンピックボート会場「海の森公園」、林立するタワーマンション群を海側から眺め、無事クルーズは終了しました。

下船後は、「千ペロ焼きトン屋」に繰り出し、大いに語り、飲み、更なる懇親を深めました。



## 編集後記

「会員の皆さんの声を集めるだけでも、記念冊子ができますね」この一言で始まった記念誌作成事業でした。始めてみると、活動の拡がりかひしひしと感じられる10年の重みが肩にズシリ、様々な局面や会員各位の顔を思い浮かべながらの編集作業でした。こうした想いのこもった記念誌に出会えたのは、編集者冥利に尽きると言えます。

「なかの生涯学習サポーターの会」は、10年の節目をリスタートと位置づけ、ここから新たに始まる次の10年に向け、共に学び合い、共に成長しながら街づくりへとつなげる歩みを始めました。自らもこの素晴らしい仲間と共に歩み、次の機会にも参加したいと願うものです。

伊藤

発行者：なかの生涯学習サポーターの会

住所：東京都中野区南台 2-37-4

発行日：2017年11月7日

企画 / 編集 / 制作：10周年記念誌作成実行委員会

<http://nakano-11e.blogspot.jp/> Facebook「なかの生涯学習サポーターの会」

10周年記念誌作成実行委員：伊藤勝昭、吉村文明、倉橋文子、井上隆文、  
山本信三、杉下文昭、道林京子、澤井静子、広瀬孝司、大石雄士、西山あけ美、小林十一郎